

Special Thanks!



**創業70年 本土最南端の砂むし温泉**  
**指宿 白水館**  
 はくすいかん  
 ④鹿児島県指宿市東方12126-12  
 ☎0993-22-3131  
 http://www.hakusuikan.co.jp  
 \*鹿児島空港から車で約1時間30分。JR「鹿児島中央駅」と「指宿駅」を繋ぐ観光列車「特急 指宿のたまて箱」(約55分)がおすすめ。



300年の歴史がある指宿の砂むし風呂。年に2回入れ替えている白水館の砂は、ふるいにかけてあるので目が細かく柔らかいのが特長。また美容成分・メタヒ酸の含有量が高く「美肌の湯」として定評がある。砂浴の平均時間は10分前後。42~43度の砂がじっくり身体を温め、血液循環を良くして老廃物の排出を促す。宿泊者以外の入浴も可。外來入浴は大人4320円(元禄風呂+砂むし風呂)。外來営業時間15:00~18:00



砂むし風呂で「電気耕うん機」が便利理由・・・

- 1 最深280mm耕せる本格ナタ爪で砂を攪拌し、汚れをかき出す
- 2 電気式だから排気ガスはゼロ。室内でも煙や臭いを気にしなくていい!
- 3 トリガー式でハンドル操作が簡単だから初心者でも使いやすい



汗や脂汚れが溜まるのは砂下約30cmなので耕深280mmのACV-1500が最適。砂の反転性・耐久性に優れた本格ナタ爪が硬くなった砂にもしっかり食い込み、効率よくかき混ぜる。また砂下30cmの温度は約50度。温度調節にもひと役かっている。



リラックスして癒されるための砂むし風呂にガソリン臭はNG。電気式ならエンジン式のように燃料の処理が不要なのでメンテナンスが楽。コンセントにさすだけで簡単に使える。



耕うんトリガーを引くだけでローターが回転し始める。赤い低速トリガーを引けば回転数が下がるので、方向転換に便利。畑仕事をしたことがない社員でも簡単に使える。

- 4 付属の車輪があるから室内も軽々移動できる



本体に付属する車輪付き抵抗棒を180度回転させれば移動用の車輪に早変わり。床材やナタ爪を傷つけることなく、砂場から休憩所、倉庫への移動がスムーズにできる。腕力がなくても女性でも楽に運べる。

- 5 折りたたんでコンパクトに収納場所を選ばない



ハンドルを折りたたむためとてもコンパクトに。車のトランクにも収納できるサイズだ。白水館ではナタ爪に着いた砂をタオルで拭き取ればサビ防止にも。砂場の隅にある社員用ロッカーのすき間に収まりそう!

**ACV-1500 電気耕うん機**  
 実勢価格4万2000円(編集部調べ)  
 最大耕うん幅360mm、最大耕深280mm、刃形:ナタ爪(直径280mm)、駆動方式:電気式、電源:100V、電流:15A、消費電力:1400W、質量:18.5kg、付属品:抵抗棒(車輪付き)、巻き込み防止ガイド、延長コード(10m)×2本、コードストラップ



広範囲の作業に使える10m延長コード2本付。



砂に空気を含ませふわふわに

砂を耕す理由は2つ。①硬くなった砂場を柔らかくした後に湯をはり、砂に混ざった汗や脂などの汚れを出す。②地下から湧く温泉成分が砂場全体に行きわたらせる。いずれも空気を含ませるようにならなくするのがポイント。ふわふわになった砂場に足を入れる感覚といったら……至福。



朝夕2回、一時間かけて砂を掘るのは体力勝負! 白水館の砂場は7m×7mの升型。毎日朝と夕方入浴時間前に「砂かけさん」と呼ばれる社員が砂をかき混ぜる。「砂をかき上げるのではなく、かき混ぜながら穴を掘るイメージ」。歴10年ベテラン社員の宮原さんでも毎回1時間かかるというから、その体力と根気強さには脱帽デス!

普段はシャベルで延々と砂を掘る!

どうして今まで使わなかったんだろう



指宿 白水館 営業本部 部長  
**高田吉範さん**  
 取材にご協力頂いた「指宿 白水館」の企画広報担当・高田さん。「身体は一緒に、心の垢も落とそう」とは高田さんの談。

写真: 飯崎大 W.P.E. 文: 浦山真由美 W.P.E.

電気耕うん機で砂むし風呂を耕してみた!! in鹿児島・指宿

砂むし風呂の掃除工程は①砂を攪拌する②湯(温泉)を溜めて砂を浸す③浮き出た汗や脂汚れを流す。掃除後は再度砂を攪拌し、温泉成分を全体に行きわたらせる。空気を含んだふわふわの砂は腕のいい砂かけさんの成せる技。

砂を攪拌して汗や垢汚れを一掃し、温泉成分を万遍なく行きわたらせる。田畑だけじゃない!

世界で唯一の天然砂むし温泉が楽しめる鹿児島県指宿。シャベルで砂を掘るシーンが有名だが、電気耕うん機で耕したらどうなる? 老舗旅館「指宿 白水館」協力のもと、初めて挑戦してみた!



本当に使える電動工具の正しい選び方はユーザーに聞く!

「砂むし風呂の歴史を変える?」「もう手仕事には戻れないかも」鹿児島県の南端にある指宿市は、世界でも珍しい砂むし風呂が楽しめる有数の温泉地。中でも街を代る有数の高級老舗旅館「指宿 白水館」の砂むし風呂は70年の歴史があり、徹底した管理による砂質を自当てる年間15万人が訪れる。本企画を模索中だったモノマガ取材班は、こ

ここで砂の攪拌に電気耕うん機を使ってみてもらった。電気耕うん機は意外な使い道となるのか? 「このACV-1500を見た時、あまりに小さいから心配でした。砂とはいえ、30cm掘るには力がかかりますから」と、初めて電気耕うん機を手にしたのは砂場担当の宮原さん。メンテナンスから接客まで担当し、一旦二回掃除する。

普段はシャベルで砂を掘る力仕事。一升掘るのに一時間かかるという。使ってびっくりでした。ハンドルが軽いのにしっかりと掘れる。20分で終わっちゃいました。電気式ACV-1500のモーターは50mlのエンジン並みで、強い負荷がかかっても力強く砂を攪拌できる。だから入浴客が踏んで硬くなった砂でも、腕に力を入れずとも簡単に体験してみた。

操作ができるのだ。しかも排気ガスゼロなので屋内でもクリーンな耕うん作業ができる。力強く使いやすい電気耕うん機の登場で、砂場仕事の効率が上がったようだ。「この手軽さを知ったらシャベルには戻れないかも笑」。ありそうでなかった電気耕うん機の意外な活用法。その砂質はぜひ白水館で体験してみてください。